

設置趣意書

※私立学校等を設置する趣意について、次の項目を中心に内容を具体的に記載すること。

- ・私立学校等を設置することにより、長野県内の生徒等に対し、どのような教育を施していくのか
- ・長期的かつ安定的に生徒等の確保を図ることができる見通し
- ・建学の精神

白馬インターナショナルスクール 設立趣意書

日本が世界に誇る雄大な北アルプスの圧倒的な大自然を誇る白馬で、日本の教育と欧米型教育それぞれの良さを融合した新たな教育モデルを創り、世界中の子どもたちと日本の子どもたちが学び合う場を提供したい、そんな思いから白馬インターナショナルスクール(以下"HIS"という)の設立構想は始まりました。

HISは、持続可能で公正な、誰もが幸せに暮らせる豊かな地球と社会の実現に貢献すべく、先進的な学びを実践するインターナショナルボーディングスクールとして、2022年9月に開校しました。

HISの生徒および教職員は、グローバルな視座を持ち、地域社会でアクションを起こし、地域社会との関わりから学び、自然と深い繋がりを培います。

人工知能が急速な進化を遂げ、人類は人生100年時代を見据え、グローバル化が進み、気候変動の影響が人類の将来に暗い影を落とす現代において、教育システムの変革こそが子どもたちの未来、ひいては人類の未来を明るく照らすための鍵になると私たちは考えています。

インターネットの普及によって知識の習得が容易になった今、子どもたちが未来を切り拓く上で重要なスキルは、問題解決能力、批判的思考力、創造性、他者と共感・協力する力などの、テストでは簡単に測れない非認知能力です。こうした力を育むため、HISでは、プロジェクト型学習という手法やシステム思考を取り入れ、ソーシャルエモーショナルラーニング(社会性や自己理解、共感力などを育む学び)に注力し、生徒たちが持続可能な世界の担い手となるよう、教育活動を行います。

HISは、新たな教育の実践を目指して日々精進すると共に、決して一定の手法に満足することなく、常に自ら変革を続けていく「学習する組織」であり続けることを固く決意します。

今や世界中の多くの人々が、子どものウェルビーイング、そして、人類と地球の共存共栄を中心に据えた教育を必須と考えています。そこで、HISは我々の学びに共感する生徒・教職員をはじめとするあらゆるステークホルダーを、国境を超えて結集させ、真に多様性に溢れる教育環境を構築することを目指します。これは長野県の生徒たちに、長野県にいながらにして国際的な環境でグローバルな視野を育む環境を提供することにつながります。私たちは、教育界・学びの県である長野県がグローバルに発展することに寄与したいと考えています。

私たちの試みが、多くの生徒や保護者、教育者の方々にとって意味のあるものとなるよう、常にパイオニアとして挑戦し続け、その成功も失敗もそこから得た学びも広く共有し、長野県内の教育の発展と再創造に貢献することを強く望みます。

2023年5月21日